

凡 例

- 一. 本書は、ながさわどうじゅ長沢道寿編集、なかやまさんりゅう中山三柳新增の『新增愚案口訣集』三卷（1672年刊）の千福流現代語訳である。
- 二. 底本は、京都大学貴重資料デジタルアーカイブ (<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/>) 収載の『新增愚案口訣集』（京都大学附属図書館所蔵）を使用した。
- 三. 『医方口訣集』の原著は、長沢道寿（?～1637）『古方愚案口訣集』一卷（刊年不明）で、これを弟子の中山三柳（1614-1684）が増補し『新增愚案口訣集』三卷（1672年刊）となり、さらにきたやまゆうしゅう し北山友松子（?-1701）が補注し『増広医方口訣集』三卷（1681年刊）となった。
- 四. 本書では、『新增愚案口訣集』に収載された全 164 処方のうち、保険収載エキス製剤かそれに近似する処方、あるいは併用で再現できる現在の日本で応用可能な処方を中心に 60 処方を収載している。
- 五. 巻頭に『医方口訣集』を読解するために便利と思われる基礎知識をまとめた。
- 六. 各処方の解説中、罫線で囲んだ「効能と証」（出典、効能又は効果、証に関わる情報）および組成は、株式会社ツムラ発行の手帳『ツムラ医療用漢方製剤』を参考にした。〔 〕の数字は製品番号を示す。
- 七. 巻末の附録に、原著（『新增愚案口訣集』）収載の処方の一覧および医療用漢方製剤の一覧を附した。